

札幌大學、動物學教室

八田先生

玉毛山
八月廿二日

十一月

大改東風御墨

季

滿

三九

三

馬

上

大正 一月 日

梓慶返事、晚キニト、記寫依頼ハシ宣ハ上京不在チ
乃神主附着帰社時夕尊主在御化候、
先生久病氣色ホニ、所、甚下ト御心身ヤ三候、以平快何事
仰慕黙化候、

初弔事、左ノ件、鉄道車三千多リ初号発刊、其後三十
年、而後、鉄道車、累計二十口發刊、其後三十
年又三十又、居候の想メ申候、

輪轉機ノ立合振替アリシ、今毛動カシ留ヘ持ニ有ル事、一昔
かレ器械(小部)、一足テヌエニアリトニ即刻主位カ東京
飛ヒテ、其後、ソレガ界ヨスレバ出来ルアシテ、動力傳給

大正 年月日

年月

大正日日新聞社 No.

ノ設備セヤフト出来候、轉輪機一臺一時乃ハ總力三万
二三千ノ出シ得候。

編輯局員、総合リ賛せんと、本社、支社、名古屋、
大阪が京都、神戸、下関各支局を通じて二千數十名
の書類局員、総合リあるをとれアニモ数十分、工事場
員（技工、労働）有三四四十名、各地通仕員七八十名
ア、児童手が拂ひ申候。

編輯ノ方針改めし後ハ、私事部編局は甚だ多く
名義リハガラレ傳故、閑知不致候、かのうふよ、塔等
リエリシ 300リ 200リ 100リ 50リ 20リ

大正 三月 日

No. 大正日新聞社

市内ノ賃貸店十五ヶ引セ 情報 (毎日毎の
名三十数ヶ店) 五万部賣込ノ目算算出モ、毎日每
ルハ万本ニ及シタル賃貸店ノ數三十ハ餘り有
ハナリ

第二回拂込金件付二四二、一二五、二省之今回
單三万四千十見込 (附: 事務行中三機算一
申上ルチ)

初号發刊賣込、景氣好キ、廣告亦多、部員大
大勢之爲常、
會後、會費、一月十号、年会費、十二月三日、

大正 事月日

大正事月日

No. 大正日新聞社

私一上京、二病弟去月十日の御誕生日死亡、孝子本紀傳
移轉也。中ノ一恨難、因爲御ノ勞了
出来又以重、並戒式、内々今ノ故、仰見令セヤハ、事は
未以革毛ヒ多モ少流の事、嘗て出レ、來事多出處
ケテハ多々ナリ。左體、御之カーレ、前ノ年、乞儀ト時、
乃翁死後、就土行以處ニ一子也行化後、上京、三十日後、
入葬於改山九十九日、即日、國府、御ノ御ノ申上先
モソニナヨンナリ。御ノ御ノ申上ノ改メテ、御ノ御ノ申上後、御ノ族
大正事月日

大正 事 月 日

大正日新聞社

No.

多底利ハシハ私一見アラルト、猪木梅ヨリホント
ヨリ、私共ト道リ同異ニシ庄アルモノト断定シテ
ソレドモ、普通一般ノ人トシテ氣ニモカナヘ、コナラ
ニ特制ノ、記切リテスモ要モナレリト、
娘矢ハ在ル名申シテ、此度ノ年、折角は更
モアリヤセム、

土立十写

三村源初

八田元之助